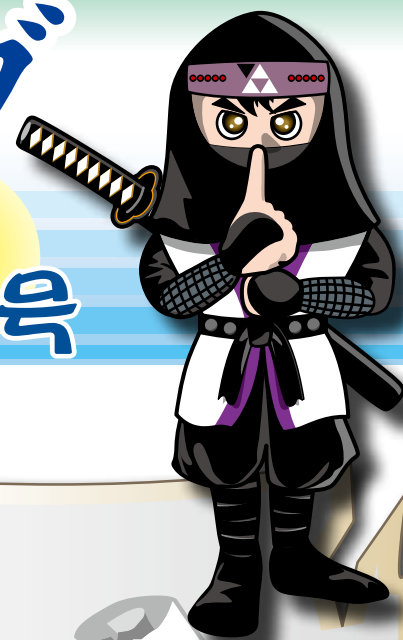


小田原創友クラブ

第 65 号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷編集協力】徠博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



忍者の里 小田原



◇ 風魔まつり
8月 29 日・30 日 開催
小田原城二の丸広場

風魔小太郎



キャラクター・写真提供：小田原市観光協会



会員の力で創立50周年記念大会を
成功させましょう

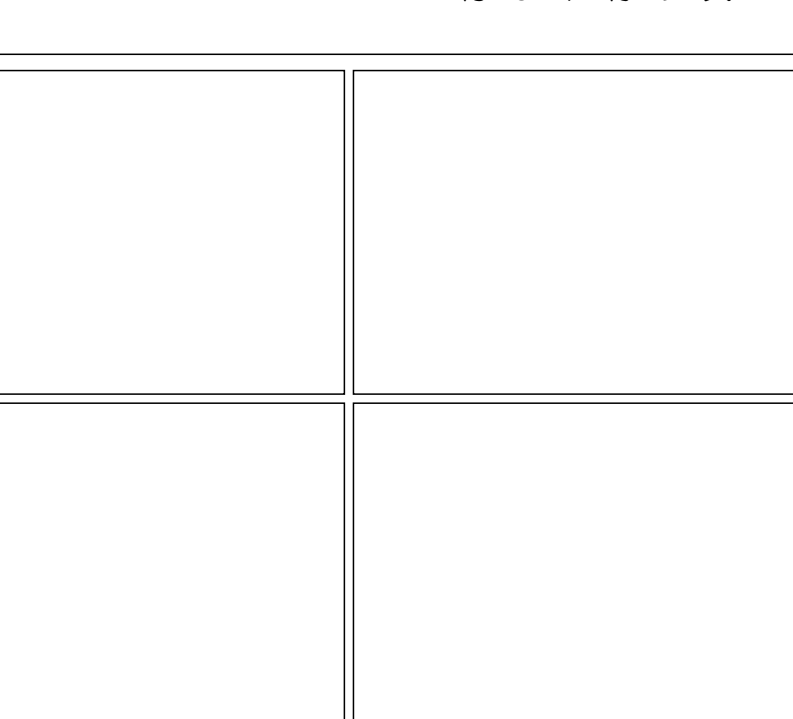
小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ)
会長 杉崎 勲

来る11月18日小田原市民会館で50周年記念大会が開催されます。老人福祉法が昭和38年9月に制定され、これを契機に小田原老人クラブが結成され、同時に神奈川県老人クラブ連合会にも加盟し現

発足当時の事務局が行政に全て任せており、約1年間の書類関係が一切ございませ。従って10周年から40周年の創立記念日は1年遅れていることを、ご了承下さい。50年の長きに亘れたのも、歴代の役員そして会員皆様のご努力の賜物であり、深く感謝申し上げます。これから小田原創友クラブ(平成26年からの会の愛称)は何をなすべきか、を考える時代に入っ

まず地域にあっては創友クラブの活動、価値観を地域毎に考え、団塊世代の受け皿として会員加入促進の足掛かりとすべきであります。また市老連が提唱している高齢者見守り隊を中心に、高齢者福祉、社会奉仕活動、安全パトロー

皆様と力を合わせてクラブを活性化させ、元気な高齢者の居場所づくりを活動の原点として、行政と連携して明るく賑やかな50周年記念大会になりますよう、皆様とお約束しましょう。



創立50周年に想うこと

総務部長
大井川悦雄

現在小田原市老人クラブ連合会は、会長をはじめ総務・財務・厚生・教養・体育・女性の6部と事務局で構成されています。そして現在140の単位クラブがあり、市の社会福祉協議会には全面的にご協力いただいております。

人間関係が大切ですので、会話に専念し、融和の精神をはかつております。本年は、市老連創立50周年を迎えることとなりました。その意義ある年に当たり、記念誌の発行と、市老連大会が企画されております。市老連大会に関しては盛大に開催出来るよう、準備の真最中です。

記念誌は過去30・40年の時も取り組まれてきましたが、今回は更に力をいれさせていただきます。先輩方の培った50年の歴史を現在の会員さん達が喜びと同時に気持ちよく引き継ぐことに、ワ

創友クラブ研修旅行
「道づれ旅」
に参加しよう

厚生部長
北村 時夫

創友クラブでは、昭和46年春から平成27年春までの間で、合計98回の旅行を実施してきました。長い歴史を振り返ってみ

ると、創立当時の諸先輩並びに関係機関の皆さまの熱意と尽力により、磐石の基礎が作られ、歴代の会長役員をはじめ会員皆さまの積極的な行動の賜物で今日まで続いているのだと感じております。旅行に関しては、「厚生部」として企画・運営の役割を引き継いでいます。

春季の旅行が済むと次の秋季の旅行を検討します。行き先については参加された会員のアンケートを参考に多いものから選んでいます。およそ5年で日本各地の観光地をひとまわりしている状況です。

明をして下さり、車窓から観賞ができるし、仲間との会話もあり十分に楽しいと、話されていたことが印象に残っています。

旅先では、時間内では回りきれないという声もあります。快適な旅行のためには、これらの部分を改善する必要もあると思いますが、団体行動でありますが、団体行動であるため、多少はやむを得ないかなあと思う部分もあります。

また、春季は花、秋季は紅葉の観賞がメインとなっていますが、その中にも神社、仏閣、美術館、お城など様々あります。「以前にも行ったことがあるから気が進まない」との声が挙がることもありますが、私自身は旅にはその都度変化があつて、楽しめるものだと感じています。

旅行に参加されたことのない会員の方も、ぜひ一度参加していただき、「道づれ旅」の醍醐味を感じてください。

参加したことによりひとつでも思い出が残ると思います。さらには皆さまが参加することで、旅行費用の一部が事務手数料として還元されます。これは福祉活動資金としての収入源となり、活用

させていただきますので一人でも多くの方が参加してくださることをお願いいたします。

会員の転倒を防ぐための活動

体育部長
小宮 清隆

会員の皆さま、転ばない足腰を作る運動をしましょう。歳をとると転びやすくなります。特に太ももの筋肉や、ふくらはぎの筋肉が弱くなりやすいものです。

小田原市には高齢者筋力向上トレーニング教室自主グループが25団体あります。身近なところで運動ができるので、教室に参加されることをお勧めします。

また地域活動として健康ふれあいウォーキングも多くの地区で実施されておりあります。私たちが健康を保持していくために、各地区で実施されている事業に参加していただいで、転ばない備えをしておきましょう。そして創友クラブで実施している行事に積極的に参加しましょう。

6月4日には、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の各地区から会員

が集まり、西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会が酒匂川スポーツ広場で100名の参加で行われました。緑の芝の上を歩き、緑の風をうけて良い交流でした。

8月には健康づくりの第一歩と考え、女子部と男子部に分けた高齢者向け体力測定を実施しました。そのあと高齢者向けの健康講話をいただきました。

10月には創友クラブシンバルスポーツ大会を、酒匂川スポーツ広場で実施予定です。

大会主旨であります高齢者の健康保持と、生きがいを高めるために会員の皆さまの積極的な参加を望みます。一般の方の見学も大歓迎です。11月には創友クラブグラウンドゴルフ大会が酒匂川スポーツ広場で開催予定です。

皆さま家に閉じこもらず、外に出ていろいろな行事に参加して安全な暮らしを確保するように心がけましょう。



女性部活動について

女性部長
市川 初江

平成27年度の事業計画も、皆さまのご理解とご協力を得て順調に進んでおります。

▼「食でいきいき栄養教室」は、市高齢介護課の皆さまと創友クラブとの共催で開催されております。管理栄養士の先生方の講義を受け、バランスの摂れた食事がいかに大切か? など、新しい知識を増やし参加している皆さまと楽しく調理実習を行い、楽しい時間を過ごせる教室です。今後多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

▼「体力測定教室」は、競い合うのではなく自分の体力を確かめる良い機会でもあります。自分のできることと動いた動きも、意外と難しい!と感じることもしばしばです。自宅で復習できる自分に合った筋トレも学ぶことができます。ぜひこの機会を体力確認のチャンスにしてみたいかがでしょうか。

▼「老人大学」は、各種講座を開設しております。普段聞くことができない内容の講座など趣旨を凝らしています。また、講義終了後に講義の先生方ともお話ができます。大勢の中では聞きにくい、恥ずかしいと思う受講者の皆さまも、この限られた時間を有効に活用されています。こんなお話が聞いてみたい!と思う内容がございましたら、ぜひスタッフまでお声掛けください。もしかしたら、あなたのアイディアが活かされるかもしれません。

これらの各教室は、仲間づくり・体力づくり、同世代の皆さまと支えあい、親睦の一助になればと思い開催しております。日頃学ぶ時間が少ない毎日です。ひとつずつ知識を増やし、健康で心豊かな楽しい日々を送りましょう。

スタッフ一同皆さまのご参加をお待ちしております。ちょっぴり勇気が出ないと思われる方でも、みんな同じ思いです。一度来てみてはいかがでしょうか。やさしい仲間がお待ちしております。

皆さま

総会開催

平成27年5月21日(木)午前10時30分より、おだわら総合医療福祉会館4階ホールにて平成27年度総会が開催されました。

大友副会長の司会で始まり、まず杉崎会長のあいさつ、続いて来賓の小田原市長加藤憲一様より祝辞をいただきました。

そして上府中地区・高田第一福寿会の足立会長が議長に指名され議事に入りました。

最初に平成26年度事業報告、平成26年度一般会計収入支出決算報告、福祉友愛募金特別会計収入支出決算、50周年記念特別会計収入支出決算書の説明があり、監査報告、質疑応答の後、議案は拍手をもって承認されました。

次に平成27年度の事業計画案、一般会計収入支出予算案、福祉友愛募金特別会計収入支出予算案、50周年記念事業計画案・50周年特別会計収入支出予算案の説明があり、こちらの議案も拍手をもって承認されました。

最後に小宮副会長より閉会のことばがあり、無事終了しました。



平成 27 年度 西湘ブロック老連交流 グラウンドゴルフ大会 表彰者

入賞

順位	氏名		スコア	Hole in one
優勝	小田原	柿崎 勝男	40	—
準優勝	真 鶴	高橋キミコ	42	1
第3位	小田原	田中 領平	43	1
第4位	箱 根	安藤 道宣	43	1
第5位	小田原	石黒 幸一	43	—

BB 賞

順位	氏名		スコア	Hole in one
第95位	小田原	小川 浩子	65	—



ホールインワン賞

No.	氏名	
1	真 鶴	高橋キミコ
2	小田原	田中 領平
3	箱 根	安藤 道宣
4	箱 根	笠原 政司
5	湯河原	室伏 秀子
6	湯河原	荒川 洋子
7	湯河原	小沢 利雄

シルバー人材センター会員募集 !!

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。民間企業・家庭・公共機関等から仕事を引き受け、会員に提供します。

毎月第3水曜日に説明会を行っています。

連絡先 生きがいふれあいセンターいそしぎ内
☎ 0465 (49) 2333【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索



平成 27 年度 第 50 回 小田原市老人大学

① 趣旨
高齢期における生活に潤いを与え、かつ充実した生きがいのある生活を送るにふさわしい教養を培うことを主眼としてこの大学を開催する。

②主催
小田原市老人クラブ連合会

③日程及び内容

	日 時	内 容	講 師
第 1 回	7 / 30 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30	開講式 ・ 講話 「ロコモティブ シンドローム」 ロコトレ体操	吉井整形外科 院長 吉井 新一 氏
第 2 回	9 / 17 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30	・ 講話 「口腔機能について」 口腔体操	安西歯科医院 院長 安西 順一 氏
第 3 回	11 / 25 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30	・ 講話 「お薬手帳の必要性に ついて」	小田原市薬剤師会 鈴木 賢治 氏
第 4 回	1 / 21 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30	・ 講話 「介護保険の話」	小田原市高齢介護課
第 5 回	2 / 10 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30	・ 講話 「新しい総合事業に ついて」 ・ 閉講式	小田原市高齢介護課

④ 会場
おだわら総合医療福祉会館 4 階ホール

⑤ 受講者
定員 1 2 0 名（女性部員 30 名を含む、尚非会員の参加も含む）

⑥ 修了証書
4 回以上出席の方に授与

※受講者は筆記用具をご持参ください。
※おだわら総合医療福祉会館には駐車場がありませんので、車はご遠慮ください。
ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 27 年度 事業計画
(1) 社会見学と研修旅行・・・・・・・・〔春：4 月岡崎城・伊勢方面〕 ・・・・・・・・〔創立 50 周年記念日帰り旅行：7 月上旬〕 ・・・・・・・・〔秋：9 ～ 10 月 富山・金沢方面〕
(2) 女性部会研修会「食で生き生き！栄養教室」・・・・・・・・ 〔全 12 回：4/14・4/30・5/13・5/20・6/4・6/26・7/17 8/7・10/1・11/26・1/21・2/25〕
(3) 小田原市慰霊塔清掃奉仕・・・・・・・・〔5 月～3 月〕
(4) 平成 27 年度市老連総会・・・・・・・・〔5 月 21 日(木)〕
(5) 第 50 回老人大学…〔全 5 回：7/30・9/17・11/25・1/21・2/10〕
(6) 『小田原創友クラブだより』の発行・・・・・・・・〔全 2 回：8 月・1 月〕
(7) 健康づくり（体力測定等）事業の推進・・・・・・・・ 〔女性 8 月 27 日(木)・男性 8 月 28 日(金)〕
(8) 友愛募金運動の推進・・・・・・・・〔8 月～9 月〕
(9) 友愛活動等支援事業「女性部のつどい」・・・・・・・・〔9 月 3 日(木)〕
(10) 社会奉仕の日・・・・・・・・〔9 月 20 日(頃)〕
(11) 友愛チームの活動推進および研修会 …〔9 月 24 日(木)〕
(12) 単位クラブの強化推進（加入促進運動）・・・・・・・・〔10 月～3 月〕
(13) 生きがいふれあいフェスティバル・シルバー作品展・・・・・・・・ 〔10 月 17 日(土)～ 18 日(日)〕
(14) 第 42 回小田原市シルバースポーツ大会・・・・・・・・ 〔10 月 28 日(水)〕※予備日 29 日(木)〕
(15) 小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会・・・・・・・・ 〔11 月 11 日(水) 〕※予備日 12 日(木)〕
(16) 創立 50 周年記念市老連大会・・・・・・・・〔11 月 18 日(水)〕
(17) 創立 50 周年記念誌発行・・・・・・・・〔1 月〕
(18) 単位クラブ会長研修会・・・・・・・・〔2 月 2 日(火)～ 3 (水)〕
(19) 老人クラブ開放・地域連携モデル事業・・・・・・・・〔未定〕
(20) 小・中学校の児童・生徒との交流及び 防犯ボランティアパトロールの推進
(21) その他、小田原市及び地区の行事に参加協力
【西湘ブロック関連事業】
1 西湘ブロック老連連絡協議会の開催・・・・・・・・ 〔4 月 14 日(火)開催：小田原市〕
2 西湘ブロック老連交流グラウンドゴルフ大会・・・・・・・・ 〔6 月 3 日(水) 〕※予備日 4 日(木)〕
3 高齢者訪問支援推進員養成研修会・・・・・・・・〔未定：開催：湯河原町〕
4 単位クラブリーダー新任会長等研修会・・・・・・・・〔未定：開催：箱根町〕
5 高齢者健康づくり実践教室・・・・・・・・〔7 月 22 日(水)〕
6 ゆめクラブ大学事業・・・・・・・・〔8 月 12 日(水)〕

市老連主要行事報告

(平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月分)

月	日	事業（会議）名	内 容	場 所
9	28 ～ 30	秋の旅行	・第 1 班 久野・大窪・山王網一色・酒匂	【世界遺産】日光二荒山神社 “健康長寿”祈願・秋景色の日本ロマンチック街道と草津温泉と軽井沢 参加者 343 名
	29 ～ 10/1		・第 2 班 曽我・前羽・下中・緑・東富水・桜井・足柄	
10	1 ～ 3		・第 3 班 上府中・芦子・幸・二川・富水・国府津・下曽我・早川	
	2 ～ 4		・第 4 班 片浦・万年・新玉・豊川・十字・富士見・下府中	
	9	西湘ブロックゆめクラブ大学	・講話「認知症の理解と対応」 ・よりよいノートについて 講師 神奈川県保健福祉局高齢社会課 ・高齢者のための栄養バランス等を考慮して調理された食事の試食および栄養講話 ・どんな運動が脳によいのか 講師 県老連活動推進員 松田冴子氏 ・脳トレと運動 講師 かながわ SWC	おだわら総合医療福祉会館
	9	常任理事会	・平成 27 年度第 50 階市老連大会について ・第 49 回小田原地方交通安全総ぐるみ大会について	
	10	慰霊塔清掃	下中・新玉・前羽地区	市慰霊塔
	17	理事会	・小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・市老連大会について ・寝たきり会員の調査依頼と見舞い品について ・忘年懇親会について ・老人クラブ加入促進について 他	おだわら総合医療福祉会館
	17 ～ 20	生きがいふれあいフェスティバル シルバー作品展	シルバー作品展搬入 シルバー作品展展示	いそしぎ
			シルバー作品展展示 三世代交流事業	
			シルバー作品展搬出	
	20	シルバースポーツ大会実行委員会	第 41 回 シルバースポーツ大会について	
	23	財務部会	上半期予算執行状況確認	おだわら総合医療福祉会館
	27	第 41 回シルバースポーツ大会	準備	酒匂川 スポーツ広場
	28		優 勝 十字地区 準優勝 曽我地区 第 3 位 片浦地区	
11	4	中間監査常任理事会・理事会	・中間監査報告 ・市老連大会について ・老人クラブ加入促進について ・福祉友愛募金について ・忘年懇親会について ・シルバースポーツ大会結果について他	おだわら総合医療福祉会館
	6	老人大学 第 3 回 女性部と医師との対話集会 第 3 回	・講話「びんびんころりと楽しく長生きを パート 2」 講師 富田医院 院長 富田さつき先生	
	10	慰霊塔清掃	十字・二川・下曽我地区	市慰霊塔
	11	第 49 回小田原市老人クラブ連合会大会	・功労者・団体表彰 13 名・2 団体 ・各地区芸能大会	市民会館
	13	女性部研修会（市高齢福祉課共催）	「食で生き生き！栄養教室」（E ブロック豊川・上府中・下曽我・曽我地区対象）	梅の里センター
	18	厚生部会	春季研修旅行について	おだわら総合医療福祉会館
	25			
	27	小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会	準備	酒匂川 スポーツ広場
	28		大会開催	

月	日	事業（会議）名	内 容	場 所
12	10	慰霊塔清掃	酒匂・久野地区	市慰霊塔
	11	女性部研修会（市高齢福祉課共催）	「食で生き生き！栄養教室」（F ブロック 前羽・下中地区対象）	前羽福祉館
	16	常任理事会 厚生部会	春季研修旅行見積検討会	おだわら総合医療福祉会館
		常 任 理 事 会・ 理事会	・会員加入促進について ・単位クラブ会長研修会について ・春季研修旅行について ・老人クラブ開放・地域連携モデル事業について ・50 周年記念誌の原稿募集について 他	
	19 22	教養部会	創友クラブ第 64 号について	
1	8	常 任 理 事 会・ 理事会	・単位クラブ会長研修会について ・春季研修旅行について ・老人大学について 他	おだわら総合医療福祉会館
	13	老人大学第 4 回	・講話「介護予防って何？ ～10 人に 1 人が認知症？～」 講師 市高齢福祉課 副課長 鈴木 富子 氏	
	16	女性部研修会（市高齢福祉課共催）	「食で生き生き！栄養教室」（A ブロック 緑・新玉・万年・幸・山王網一色地区対象）	保健センター
	20	常任理事会	市老連 50 周年記念誌・事業について	おだわら総合医療福祉会館
2	4 ～ 5	単位クラブ 会長研修会	講話「脳血管疾患予防について」 講師 市健康づくり課 中沢様・山村様 ・劇「脳血管疾患を予防しよう！」 出演 市健康づくり課	ホテルおかだ
	10	老人大学 第 5 回	・講話「介護保険って何？」 講師 市介護保険課 小川 泉 氏 ・閉講式	おだわら総合医療福祉会館
	12	老人クラブ開放・地域連携モデル事業「小田原漆器研ぎ出し体験学習	小田原漆器「お椀」研ぎ出し体験 講師 池谷 元弘 氏 参加者 50 名	
3	26	厚生部会	春季研修旅行について	
	5	常 任 理 事 会・ 理事会	・平成 2 7 年度単位クラブ補助金について ・小田原市高齢者協定保養所事業について ・春季研修旅行について ・友愛チーム関係提出書類について ・女性部会の開催について ・平成 27 年度単位クラブ役員等報告書について ・加入促進運動について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	曽我・富水・東富水地区	
	16	厚生部会	春季研修旅行について	
	18	旅行責任者会議	春季研修旅行説明会	
	25	女性部会 財務部会	・平成 26 年度女性部事業報告について ・平成 27 年度女性部事業計画について・その他	おだわら総合医療福祉会館
			平成 2 6 年度決算について	
	30	常任理事会	・平成 2 6 年度事業報告・決算書について ・平成 2 7 年度事業計画・予算案について	

旅行記

春爛漫！

花めぐり

伊勢湾フェリーで
行く伊勢神宮

参拝の旅

山王網一色地区

若葉クラブ

山口

繁

咲き始めた桜を満喫するため、千本の桜で有名な徳川家康誕生の地、岡崎城址に向かった。途中の車窓より世界遺産の富士山や、新東名の高台から見る駿河湾を眺め、また沿道の桜を求めながら豊川稲荷に参拝した。豊川稲荷は神社ではなく妙



厳寺というお寺であることが分かった。その後みかん畑の中に建つ「蒲郡オレンジパーク」で昼食休憩後に桜の名所の「岡崎城」に向かった。

岡崎城は家康の生誕の城で有名であるが、天守閣は戦後に再建された鉄筋コンクリート製で小田原城の天守閣と同等の建物で、最上階からの見晴らしは大変良かった。桜祭りの期間中であり、染井吉野がほぼ満開で花見客で混雑していた。「日本の桜名所百選」に認定されただけに桜は見事であった。城の案内をする甲冑姿の若者がサムライ言葉で「八丁味噌」工場に案内してくれた。八丁味噌は城から八丁離れた場所（872メートル）で作っていた

味噌の名前で家康が命名した。工場の味噌蔵の中の見学と買い物をして、1日目の宿泊地の「三谷温泉・松風園」に宿泊した。全国を行脚した行基が発見した温泉で三河湾の眺望が素晴らしい。

2日目は伊良湖港から

フェリーで伊勢湾を鳥羽に向かって海上移動するが、メンバーの集合時間が早く、また道路の渋滞がなかったこともあり、時間に余裕ができたので予定外のチューリップの公園「サンテバルクたはら」の見学をした。チューリップが満開で新しい品種が多くみんな感激した。

伊勢湾フェリーは静かで島々を眺めているうちに鳥羽港に到着した。鳥羽港よりバスで二見ヶ浦に移動し徒歩で夫婦岩を見学した。興玉神社は高校の同級生が神主をしていた場所でもあり感無量であった。

昼食の後、伊勢神宮の外宮（豊受大神宮）を参拝した。伊勢参りは外宮と内宮を参拝するしきたりになっていた。最近はい宮だけで済ませることが多いようである。ホテルに向かう途中の道端や海岸の桜はほぼ満開で桜が笑顔で迎えてくれる中を鳥羽のシーサイドホテルに到着した。ホテルは鳥羽の安楽島にあり、多くのホテルがある景勝地である。食事は伊勢エビや鮎の料理で伊勢志摩の幸を満喫できた。また、海を一望できる温泉がよ

かった。

3日目は朝から曇り空で今にも雨が降りそうな天候の中を伊勢神宮の内宮に向かって出発した。

伊勢神宮は20年ごとの遷宮が行われた後の真新しい鳥居・宇治橋・拝殿などに接して心身の改まる気持ちになった。

雨の中の「おかげ横丁」の散策を短時間で終らせ、名物の『赤福』でお茶を味わい伊勢を後にした。

帰路は途中より雨、霧が多くなったが事故なく、予定より早く帰宅する事ができたいい旅であった。

春爛漫！

花めぐりと

伊勢神宮旅行記

下曽我地区

福寿会

近藤

義栄

春爛漫！花めぐり：

と銘打って4月6日に小田原創友クラブ春の研修旅行がはじまりました。今年は桜の開花が早く、旅先でまだ散っていないか心配しながらの出発となった。行き先は岡崎城、伊勢神宮です。

最初の目的地岡崎城に行く前に豊川稲荷を訪ね

る。曹洞宗の名刹といわれ、中興の開基今川義元をはじめ、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康なども深く信仰したという。次いで、徳川家康出生の城で有名な岡崎城を見学。

城内には桜が咲き誇りまさに春爛漫である。からくり時計塔の家康公人形が能を舞い、時を告げていた。

2日目は、伊良湖でフェリーに乗り、伊勢湾を初めて横断する。鳥羽に到着後は二見ヶ浦で夫婦岩を観、いよいよ伊勢神宮の外宮へ「お伊勢参りは外宮から」である。

外宮は、豊受大神宮で天照大神のお食事を司る神の豊受大神をお祀りしている。

伊勢神宮はこの外宮と五十鈴川の川上にある皇大神宮（内宮）の両正宮を中心に別宮など合わせて125社の宮社から成り立っている。平成25年に62回目の遷宮が行われた。

豊かな樹木に囲まれて真新しい宮社が続く外宮を後にする。

3日目は皇大神宮（内



宮）参拝に向かう。皇大神宮は皇室のご先祖の神である天照大神をお祀りしている。まず、神宮の表玄関である宇治橋を渡る。さらに進むと奥に正宮が現れる。内宮を参拝した後、近くのおかげ横丁を散策。どうしておかげ横丁というのだろうか。その答えは、この地に住む人々は暮らしのすべてが神様のおかげと感謝し、江戸時代のおかげ参りの頃の様子を再現した町ということであった。ここでは、朝の10時に店の人たち全員が内宮の方向を向き、参拝するという光景に遭遇した。まさに、ここはおかげ横丁である。

今回の研修旅行は日本の代表的寺社建築をじっくりと見ることができ、有意義な旅でした。

単位クラブ活動報告

下中地区

中村原寿会

会長 峯尾 茂明

●会員数

男性 40 名
女性 47 名
合計 87 名

●クラブ結成時期

昭和 36 年 4 月 1 日

クラブ名の由来

寿はおめでたいこと・命の長いこと・長命・長寿であり、それに地名を入れて中村原寿会とした。

クラブの活動

毎月第 1 月曜日に役員会（会員を 8 組に分け各組長も役員会に出席）を開き、今後の行事予定の報告や進め方を話し合っています。

会員の皆さまには、その結果をお知らせして、地区の行事にはできるだけ多くの人が参加するようお願いをしています。参加しようとする行動が、精神的に脳の刺激になり老化を遅らせる要素になることは、医学的に証明されています。

会員同士大勢の人と顔を合わせ、お話をして笑って過ごす時間を持つことの大切さを、会員の皆さまに理解していただ

下中地区

橋ゆうゆうクラブ

会長 大隈 五郎

●会員数

男性 41 名
女性 33 名
合計 74 名

●クラブ結成時期

昭和 48 年 3 月 11 日

クラブ構成地域

橋団地一般住宅・橋共同住宅・さつきヶ丘・若葉台・湘南橋の各 5 自治会

1. クラブの概況

神奈川県住宅供給公社は、小田原市の東部山間地を宅地開発したのが昭和 47 年でした。その後民間不動産業界により宅地開発が進み、現在では約 650 世帯が居住している地域に発展しています。

開発当時は、テレビの電波障害で自治会・テレビ共聴組合・橋東部寿会などを共同住宅と合同で、県供給公社と交渉して発足しました。

隣接には二宮町、中井町が中村川を挟んで下小竹・坂路と小高い山川に隣接した閑静な地域で近隣にはスーパーが軒を並べ、日常的には何不自由のない地域であります。

しかし、開発から 40 年を経て住民の高齢化が急



橋ゆうゆうクラブ
被災地支援旅行
平成 27 年 6 月 20 日

速に進んでいること、新興住宅地で各地域からの転入者であること、若い世帯者は共稼ぎで自由時間がないこと、自治会が 5 団地に分散していることなどから会員の増加に苦慮しています。

2. クラブ活動

(1) 老人に親しみやすい活動を図り、会員数を拡大すること
①サークル活動の推奨：カラオケ、囲碁将棋、ゴルフ、釣り、ハイキング、卓球、俳句、美術鑑賞、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ゲートボールなど

(2) 健康体操の推奨
①防犯・防災活動への積極的参加：防犯パトロールへの参加（歩く健康管理）
②町内定期清掃への参加

③夏祭りへの参加：地域コミュニケーションへの理解

(3) 友愛活動の積極活動

①談話会の開催：お茶会、県・市の相談

施設の活用

②日帰り温泉

3. 今後の課題

①老人社会を考える会合を頻繁に開催。今の自分でなくこれからの自分を考える講習の開催

②地域の老人の『絆』と『仲良し会』の推奨

下中地区

桜梅会

会長 渡部 祥子

●会員数

男性 15 名
女性 36 名
合計 51 名

●クラブ結成時期

平成 23 年 4 月 1 日

クラブ名の由来

中村原住宅団地の建設当初、桜・梅・その他の苗木が植樹され、皆々と共に成長してきました。

今では立派な巨木となり、花の季節には梅が咲き香しく、続いて桜の花が咲き乱れ楽しませてくれます。それらに因んで桜梅会と致しました。

桜井地区

城北健寿会

会長 佐藤 忠明

●会員数

男性 36 名
女性 31 名
合計 67 名

●クラブ結成時期

昭和 58 年 4 月 1 日

☆クラブ名の由来

昭和 58 年 4 月 1 日に城北自治会内に「城北老人会」として発足。平成 24 年 4 月に会員からの募集で現在の「城北健寿会」と改名する。

☆クラブの活動

①毎月第 3 金曜日に役員会を開催し、市老連からの伝達事項の報告と、今後の活動計画を策定している。

②誕生日を迎える会員に、役員が赤飯を持参し祝詞をのべて親睦を図っている。

③健康促進のため、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、歩こう会を開催している。三世代交流を含め子ども会にも参加を呼びかけている。

④会員間の親睦を図るため、年に 1 回日帰りバス旅行を開催している。

⑤市老連、桜井老連、地区諸団体の行事に積極的に参加している。



桜井地区

招寿会

会長 一戸美智子

●会員数

男性	14 名
女性	42 名
合計	56 名

●クラブ結成時期

昭和 55 年 4 月 1 日

クラブの活動

年 4 回の集会場での清掃と草むしり、年 2 回の入湯会一泊で、次の日はミニ観光をして楽しく過ごしています。折り紙やグラウンドゴルフ、お茶飲みサロンで大正琴を聞いたりちぎり絵をやっております。出来た作品は文化祭に出品して、会場を明るくしております。

新年会にはボケ防止に簡単な脳トレをしたり昔の歌を大きな声をだして歌い、最後にビンゴゲームで皆で持ち寄った景品をもらい次の会を楽しみにしております。しかし中には高齢のため足腰が悪くなったり、施設に入った方などで会員数も減少方向にあります。それでも今年も 8 名の入会者があり、会員の皆さまに楽しく過ごしていただけるような企画も色々計画していきたいと思っております。少ない会費の中で実行するのは大変で



すが、無い知恵をしぼって頑張っていくつもりです。

毎年 11 月に桜井小学校で行う芸能祭に昨年は、各会の男性の会長さんにも参加していただき「小田原地引き綱」を踊りました。

桜井地区

学校前友愛会

会長 安達 孝一

●会員数

男性	27 名
女性	27 名
合計	54 名

●クラブ結成時期

昭和 58 年 4 月 1 日

クラブの由来

桜井地区「学校前老人クラブ」として発足。

会員の絆をさらに深めようと、平成元年に老人クラブ会旗を作り愛称を「友愛会」とした。平成 15 年度に、「学校前友愛会」に変更した。

クラブの活動

東栢山学校前自治会内

の地区住民の協力を得ながら明るい豊かな老人の和と健康と親睦を図る。

★自治会行事で役割分担

◎仙了川及び地域の草刈、清掃、ふれあいサロンへの参加

◎自治会のふれあい農園でサツマイモを栽培（子供会の収穫祭）

◎栢山神社祭りで、子どもたちに綿菓子（無料）提供

◎小学校児童下校時の見守り活動への参加（月 2 回）

★魅力ある活動をするこ
とで仲間の輪を広げてい
く

◎市老連（創友クラブ）行事の PR と参加の呼びかけ

◎栢山神社境内および周辺の清掃：年 3 回

◎桜井地区内でのクラブ交流行事を実施：年 1 回

◎敬老の日に赤飯、正月に年賀を会員に配布：年 2 回

◎お茶会の定期的開催と公式ワナゲの練習

☆誰でも参加できて気軽に遊べるゲーム

「公式ワナゲ」の採用を決め、平成 24 年 6 月にゲーム器具一式を購入し練習開始。参加者も徐々に増え、練習の成果が出

始めて励みになってきた。

今後の目標

●自治会内の高齢者に友愛会への入会を働きかける

●一人暮らし高齢者の孤立を防ぐ活動を支援

●日常の活動の中で地域の子どもたちとの触れ合いの機会を増やす

芦子地区

寺町桐寿会

会長 加藤 英雄

●会員数

男性	37 名
女性	36 名
合計	73 名

●クラブ結成時期

昭和 50 年 1 月 19 日



◎寺町の地理的位置

国道 255 号線から箱根連山に向って、大雄山線を超えて、小田急線までの地域で、その先が萩窪、左側が谷津、右側が池上地区で芦子地区の

中央に位置しています。近年いくつかのマンションが建設され、世帯数は 600 を超えました。

◎会の名前の由来

昔、現在の公民館の近くに桐座という有名な芝居小屋があり、役者はこの舞台を経て江戸へ出たといわれ、役者になるための登竜門でした。この有名な桐座の「桐」をとって桐寿会と名付けられました。

◎会の活動

活動の特色は、毎月第 1、第 3 日曜日の月 2 回、公民館に集まり主に公民館の清掃および隣にある仙狐稻荷神社の清掃また地域の三角公園の清掃を行っています。清掃後は公民館に集まり、活動についての話し合いとその後の懇談により、親睦を深めています。また、事業としてお盆の飾り物の収集作業、湯治旅行などの活動を行っています。

◎今後の活動について

昨年 6 名の新人会員が入会されましたが、亡くなる方や体調を崩される方がいて、今年 4 月までは 1 名減となりました。今年も新会員の加入活動を常時心がけていきます。第 2 は友愛活動のさらなる充実。第 3 はこれまで取り組めていない

サークル活動を検討していきます。

芦子地区

萩窪長生会

会長 穂坂 理弘

●会員数

男性	23 名
女性	13 名
合計	36 名

●クラブ結成時期

昭和 36 年 2 月 15 日



JR 小田原駅西口より

北西の方角に位置する、人口約 4000 人、世帯数約 1200 ほどの集落が萩窪地域です。地域内に市役所、警察署、税務署、県の合同庁舎などの行政機関や大学のキャンパス、小田原厚木道路のインターなどがあります。

江戸時代の末期、水不足で農家の人たちが困窮する中、水路工事に優れた技術と経験を持ち合わせている、山北在住の川口広蔵さんに用水路の工事の指導を仰ぎ、5 年余りの歳月を費やし完成し

たのが、萩窪用水です。これにより萩窪地域の農業が飛躍的に発展しました。

現在、萩窪地域内に生活する者として、川口広蔵翁をはじめ、水路工事に心血を注いだ先人の労苦を忘れることは出来ません。毎年春と秋の彼岸の中日には、自治会、地区役員、水利委員が川口広蔵翁の生家と墓前にお参りし、線香を手向けています。近年この用水路の水辺に、めだかの学校の碑がつくられ、今では珍しい水車も廻っています。地域の鎮守でもある市方神社の鳥居の隣には西南の役から、日清、日露、日支事変、太平洋戦争まで戦火に散った英霊 50 余命を祀る石碑には四季の花々や線香の煙が絶えません。

神社境内には、水路に携わった人びとの石碑もあり、永久に区民の記憶に残ることでしょう。

この神社に隣接する公民館を含め毎月 15 日には、長生会として清掃を行っています。

これからも末永く続けていく所存です。

富士見地区

南鴨宮第一長寿会
会長 松本 満

●会員数

	男性	女性	合計
26名	33名	59名	
●クラブ結成時期 昭和35年9月15日			

富士見地区南鴨宮第一長寿会では、かねてより地域の活性化を図るためにはどのような活動を行うべきかを話し合っております。

その一つとして平成23年に下菊川に鯉のぼりを揚げてみようという計画し、準備を始めました。しかしその矢先、東日本大震災が起こり日本中が悲しみに包まれ、私たちも鯉のぼりを揚げようとしていた活動を自粛しました。

それでも翌年には実施できるような目標を立て、一部の有志で資金を出し合いながらコツコツと準備を進め、50から60匹もの鯉のぼりを集めることができ、目標通り平成24年4月下旬、無事に鯉のぼりを揚げることができました。

その際には、市長にも見に来ていただき、市報の表紙にも取り上げていただきました。

また、ケーブルテレビでの放映や神奈川新聞や地元紙などにも掲載されたことにより、

近隣の住民の方々はもとより、鎌倉や藤沢にお住まいの方々の方も「鯉のぼりを寄贈したい」と毎年お申し出をいただけるようになり

ました。おかげさまで今では大小合わせて140匹もの鯉のぼりと、20本ほどの吹流し

が集まりました。これだけの数の保管や補修にはなかなか時間や手間

もかかり、苦慮しているところではありますが、南鴨宮四区自治会のご協力や、南鴨宮南部商工振興会さま

からの資金協力をいただき、毎年続けてこられております。

鯉のぼりを揚げるたびに、近隣住民の方や子どもたちの喜ぶ声を聞きますと、それまでの苦労なども忘れ、報われる思いであります。



今後とも会員一同、力を合わせて地域の活性化の一助になるよう、努めていきたいと思います。

神奈川県内の中小企業にお勤めの方、自営業の方はもちろんそのご家族も加入できる安心のケガの保障！！

加入年齢 満55歳から満80歳まで

満99歳まで保障

祝寿共済保険 資料請求・お問い合わせは

0120-180890

白寿 1,300円

一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団

平成27年度 市老連秋季研修旅行

～有磯海の絶景と富山・金沢の旅～

金沢兼六園・

越中八尾おわら風の盆貸切特別鑑賞

鯒しゃぶ料理の糸魚川温泉と金沢の奥座敷辰口温泉

(お1人様)

40,000 円

日程	行 程
第1日	小田原市内＝大井松田 C＝＜東名道＞＝足柄S A「休憩」＝御殿場 C＝＜東富士五湖道路・中央道＞＝双葉S A「休憩」＝豊科 C＝7:00～7:30頃出発
	＝豊科 C＝安曇野スイス村「昼食」＝安曇野、穂高神社「参拝」＝白馬村＝道の駅小谷「休憩」＝糸魚川フォッサマグナミュージアム「見学」＝
	＝糸魚川温泉 ホテル國富アネックス「宿泊」 16:30頃着
第2日	糸魚川温泉＝糸魚川 C＝＜北陸道＞＝滑川 C＝港町・岩瀬／北前船廻船問屋森家「見学」＝富山市内、池田屋安兵衛商店「富山の薬種商を見学」＝8:15出発
	＝富山 C＝＜北陸道＞＝小杉 C＝射水市、彩りの里香月「昼食」＝高岡大仏「日本三大仏／見学」＝雨晴海岸「有磯海として国指定の名勝」
	＝高岡北 C＝＜能越道・北陸道＞＝美川 C＝金沢の奥座敷 辰口温泉 たがわ龍泉閣「宿泊」 16:10頃着
第3日	辰口温泉＝金沢兼六園「見学」＝金沢駅（車窓）＝金沢西 C＝富山 C＝源ますのすしミュージアム「昼食」＝八尾曳山会館「風の盆貸切特別鑑賞」＝8:00出発
	＝＜R 41・471＞＝アルプス街道 平湯「休憩」＝＜安房トンネル＞＝松本 C＝＜長野道・中央道＞＝諏訪湖S A「休憩」＝双葉S A「休憩」＝
	＝＜中央道・東富士五湖＞＝御殿場 C＝＜東名道＞＝足柄S A「休憩」＝大井松田 C＝小田原市内各地 20:00～20:40頃着

※この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により多少時間に変更になる場合がございます。

※ 出発日より、見学順が変更になる場合があります。

班	日 程	地 区
1班	9/28(月)～9/30(水)	緑・幸・十字・芦子・東富水・大窪・早川・山王網一色・豊川
2班	9/30(水)～10/2(金)	新玉・久野・下府中・酒匂・国府津

班	日 程	地 区
3班	10/5(月)～10/7(水)	二川・桜井・上府中・下曾我・片浦
4班	10/7(水)～10/9(金)	万年・足柄・富水・曾我・前羽・下中・富士見

1 泊目

糸魚川温泉

ホテル國富アネックス

2 泊目

金沢の奥座敷 辰口温泉

たがわ龍泉閣

■申込方法／もよりのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい

■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局

TEL 0465 (32) 5800

もしくはもよりのクラブ会長様へ

旅行取扱会社

(株) 小田急トラベル

小田原販売センター

TEL0465 (22) 0801

会員文芸

俳句

十字地区 銀杏の会 生田目茂子

春の海箔を敷きつめ眠りをり
寒星や拒まず入る風邪の神

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝

八十路越え今日も無事なり冷や奴
鰯叩き老いても主婦の夕仕度

片浦地区 相生クラブ 森本シヅ子

桜咲きデイサービスに通いだす
ランドセル背負う曾孫は一年生

下府中地区 鴨宮4区第2長寿会 志澤 麗子

緑蔭や礎石並びし国府跡
方丈の廊に掛けたる青簾
秋鯖を下ろす手許を見てゐたり

短歌

片浦地区 相生クラブ 森本シヅ子

あちこちがいたいいたいと嘆きつつ
朝日とともに起きる嬉しさ舗装路の裂け目に咲きしタンポポよ
どうか車にひかれないうでね

富水地区 飯田岡第一寿会 岡田チヨ子

救急車今日朝よりか三度きく
ガホ、ガホ、ガホと他人ごとならぬ
我が人生描きし老後は想定外
足引く今が現実なんだ桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
秋の野を行けども歌は出来もせず
食欲わきて献立きまる久野地区 宮本あゆみクラブ 湯川喜代子
朝食の残りしパンを雀めらに
まいてる孫のやさしさ思う片浦地区 高砂会 宮本多喜子
帰り来て畳の上に寝ころべば
肌に伝わる我が家の匂い朝よりの大雨未だ止まざるに
ひぐらしの声木の間に響く

川柳

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄

ありがどう互いに云える年齢になり
東京のモグラも悩む地下環境
ビアガーデン暑さうれしい泡涼しい十字地区 銀杏の会 生田目茂子
銘仙や母の遺愛を肌で知る
婚活や娘息子よ答え出せ片浦地区 相生クラブ 森本シヅ子
目薬をつけるたんびに口が開き
思い出すこともあやふや九十七

原稿募集

◎「小田原創友クラブ」66号(平成28年冬号)に原稿をお寄せください。単位老人クラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳など何でも結構です。

*紙面の都合上、長文の場合は分量をカットもしくは次号まわしとさせていただきます。

*趣旨を変更せず添削する場合があります。二重投稿、発表済みのものは受け付けません。また原稿、作品は返却しません。

*活動記などは写真があれば添付してください。

*必ず氏名、地区名、クラブ名、電話番号を明記してください。(不明な点をお聞きする場合があります)。

*原稿をパソコン等で作成された方はデータをUSB、CD-R等にコピーしてお送り下さい。ご協力お願いします。

・発行 平成28年1月

・締切日 平成27年10月15日

◆宛先

〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館

小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部まで。

会員投稿

人生雑感 その3

新宿老友会 高橋 孝一

今回の投稿で3回になりますが、今回は夫婦の価値感について述べようと思います。

昔は亭主の好きな赤烏帽子といいますが、今時のご夫婦にそんなことを言ったら笑われるのが落ちではないでしょうか。今は私は私、僕は僕という風潮であり皆様も(特に男の人は)経験があると思いますが、買物にしてもご婦人は一度気に入った物でも最初のお店では買わず2、3軒はしごをして、結局最初のお店で買うことが、たびたびあります。その間旦那さんまたは恋人は手持ち無沙汰で待っていなければなりません。反して男性は気に入った物は即決して最初のお店で買うことが多いと思います。

それがひとつの価値感というかどうか疑問ですが、一昔前なら男が黒といったら女性も同調して黒といったのではないのでしょうか。ただ夫婦で同じ価値感を持つということは、同じ趣味を共有することが一番だと思います。

例えば、一緒にウォーキングをすとか、山登りをすとか一緒に趣味を持てば、だんだん価値感が夫婦で同じようになると思います。でもそれができません。(自分を含めて)それではどうすればいいのか、それはまず夫婦関係を見直すことだと思います。内助の功に感謝し、そこから新しい夫婦の関係が始り、夫婦は対等であることを頭に入れて、お互いに共通する趣味を見つけることだと思います。また、今回も頭によぎることを書いてしまいました。それでは皆様もお茶としましょう。

好評

病院のお迎えから式場使用料まで
必要と思われるものは全てセット

15 万円
20 万円
30 万円
40 万円

家族葬の市民葬祭

365日24時間受付

よいくよう

☎0120-58-4194

一般墓地の他、後継ぎの無い方の
永代供養塔もご致します

しょう おう じ
曹洞宗 正應寺

小田原市府川339

☎(0465)34-0279

http://www.shououji.or.jp

春の旅



あ と が き

▼「小田原創友クラブ 65 号」に皆さま方より丁寧なる温かい原稿をいただき、収録に際し、心より感謝いたします。

単位クラブ活動報告も軌道にのり「活力ある地域づくりと仲間づくり」が夫々のクラブより多数寄せられ、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

なお、市老連 50 周年記念を迎えるにあたり、教養部一同、心を引きしめ次号に向けて頑張りますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。（教養部）

会 員 加 入 期 間 中 で す 増 強 運 動

平成 26 年から 5 カ年間で県老連では 20,000 人の目標で実施致しております。
小田原創友クラブの推進項目として

- ◎ 未加入者宅にパンフレットの投函。
 - ◎ 会員 1 人が新しい会員 1 名以上の勧誘をする。
 - ◎ 未加入自治会の創友クラブの結成を計る。
- ※単位クラブ 2 名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。



このたびは小田原市老人クラブ連合会広報紙「小田原創友クラブ」に広告のご掲載を賜わり、誠にありがとうございました。

スポンサー各位へ御礼

本紙は来たる超高齢社会に向かって、会員のいきがい、健康、教養を高めるとともに、会員相互の親睦交流を願って発行するものであります。以上の趣旨をご理解いただき、何卒末永きご厚誼、ご支援を引き続き賜わりますようお願い申し上げます。小田原市老人クラブ連合会

